

ともしえ No. 82



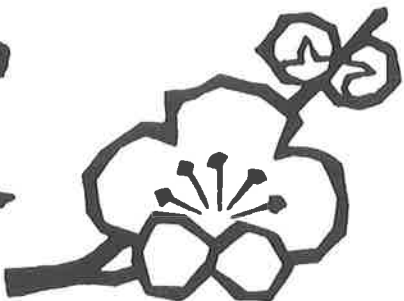
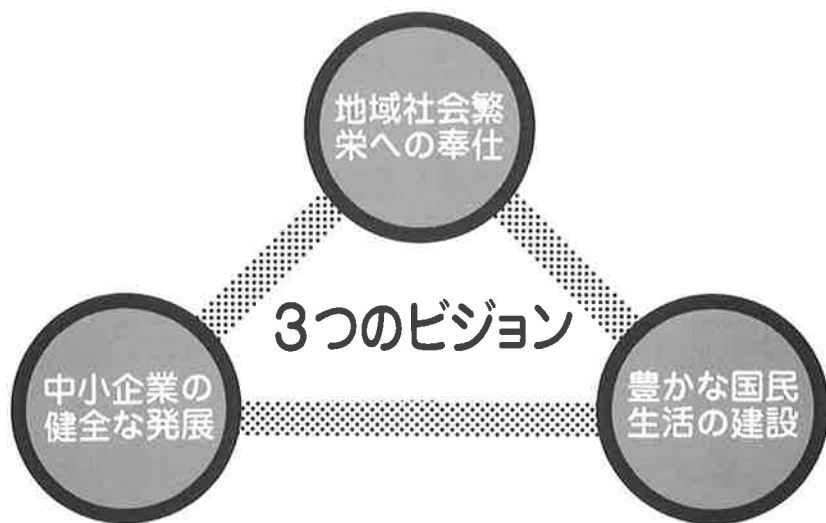
'88 青函博 みんなの力で成功させよう！



■ 函館商工会議所報 ■
1988 新年号

謹んで新年の
お慶びを申し上げます

賀 正

はこしんは豊かな暮らしと確かな未来の実現にお手伝いいたします。

 **はこしん**
函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
はんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

視点	1
新年を迎えて	2
年頭所感	3
会議所の動き	4
事務局日誌	8
誌上年賀	10
新春放談	18
十二支物語	24
成人おめでとう	25
地域の景気	26
調査レポート	30
アドバイスコナー	32
寄稿文	34
Q & A	36
ティータム	38
ご案内	40



● 視点

新年明けましておめでとうございます。

函館にとつては、大きな転換が開始された年ともいえる昭和六十二年も終り、槌の音も高らかに響く明るいお正月を久し振りに迎えることができました。

国際的には円高が一段と進み、貿易摩擦も農産品を始め各分野で顕在化しつつある中で、わが国経済は官民一体となった懸命の努力により、ようやく内需の拡大の方向に進み、昭和六十三年度には四%近い成長が確実視されるに至りました。

函館の経済動向につきましても、昨年春には全体としてなお停滞感が濃いつわられていたのが、暮には建築や観光レジャーの盛況持続に加え、公共工事の波及効果が企業の生産・雇用の面などに浸透し、景況は着実に回復してきているといわれるまでになりました。

確かに有効求人倍率一つをみても前年の〇・二六に対して今年は一・四二となっており、雇用の面でもこのことが裏付けされています。

そして今年も青函博が開催されます。七月九日の開会に向けてこの好況は続くと思いますが、これを永続させるための努力は今からやっておく必要があります。

幸い第四次全国総合開発計画には青函インターブロック交流圏構想があり、この実現を図るべく道と県の接触が既に開始されています。当面この構想に基づき、広域的視野立って諸施策を強力に展開していくことが大切と考えます。

年 頭 所 感



函館商工会議所

会 頭 川 田 寛

昭和六十三年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年はかつてない程の金融緩和の中で、円高傾向が一段と進み、一時的に海外要因による株価の乱高下はありましたが、国内最終需要は全般的に日を追って好調を示し、これにともない生産も急速な立上りをみせ、外需の減退はあるものの内需主導型の好ましい姿を見せつつ、景気の拡大が急速に見られた年でありました。

当地域におきましてもこの傾向は、はっきりと見ることができ、総じて公共事業の拡大による波及効果が、企業の生産、雇用の面でも表われ、史上最高の観光客の入り込みもこれに加わり、また、住宅建設なども大幅に増加し、景気は確実に回復してきたといえるのであります。

このことは非常に大きな意味のあることでもあります。即ち、つい最近迄は国内の景気の動向が函館経済に影響を及ぼすためには数年を要していたのが、昨年は正に同時に表れている訳であります。

この理由としては、地域活性化のため、地域最大の公共事業でもあった青函トンネル開通という機会をとらえ、青函トンネル開通記念博覧会を開催するなど、函館の将来をかけての施策を強力に進めてきた努力の結果が現われてきたといえると思うのであります。

勿論、その前提として昭和二十年の敗戦により北洋漁業の権益を失って以来、営々として函館経済の基盤を守り育ててきた幾多の先達のご努力があることは申し上げる迄もないことであります。そして、種をまいて育ててきた諸事業が昨年あたりより一斉に芽を出してまいりました。

即ち五稜郭のコミュニティマート構想モデル事業では、行啓通りのシンボルロード化が完成し、周辺の街区の再開発と相まって、文化情報のクrostタウンという地域社会と密着した新しい商業地区が形成されつつあります。駅前地区におい

ても、ツインタワービルとして業務機能と宿泊機能を合わせもった大型建築物がその偉容を見せてきており、本年三月十三日開業の青函トンネルの北海道側起点としての駅前地区の機能向上に寄与する所大なるものがあります。また、道立工業技術センターも産業界との密接な関係を保ちつつ地域の技術水準の向上のため大きく動き出してきました。

昨年四月開校した函館ソフトウェア専門学院も一年コースの卒業生に対する求人が求職を大きく上廻り、幸先のよいスタートを切っております。函館インフォメーション・ネットワーク㈱も昨年五月に設立総会を開いたばかりでありましたが十一月には、早くもビデオテクスによる地域情報サービスを開始いたしました。さらに、かねてより進めてまいりました青函トンネル開通記念博覧会につきましても、会場の整備も略終了し、出展企業も約四十社が決定、今春には各社一斉に展示のための工事が開始されようとしております。また、実行委員会の各専門部会も、それぞれの立場で調査、検討を開始し、成功させよう青函博の会もホスピタリティ、宿泊、交通などの部会を中心に、市民の側からの協力体制の推進を著々と進めており、前売入場券も予定の七十五万枚の配券も略終了、今後は博覧会の明確な内容のPRとともに完売に期待がもたれているところでもあります。

新幹線につきましては、青森側との意見調整も終り、両地域をあげて盛岡・函館間の早期着工を目指し、自民党三役を始め、運輸省など関係方面に強力に陳情を重ねてまいりました。

第四次全国総合開発計画に明示の青函インターブロック交流圏構想につきましても、青函圏経済文化振興協議会において、両地域の代表が前向きにこれを進めていくことを約し、具体的な施策の推進について関係各方面にご協力を要請していくとともに、この構想推進のための組織づくりを早急に進めることになりました。

昨年申し上げた四つの地域課題、即ち

- 一、テクノポリス函館計画の推進
- 二、青函トンネル開通記念博覧会の開催
- 三、新幹線誘致運動と駅前地区の再開発
- 四、国立大学の設置

につつましては、本年も大きく変わる所はないのでありますが、本年七月開催の青函博については、当面全力を注ぎ、諸施策を進め成功させなければならぬことは申し上げるまでもありません。

資本も情報も、自ら努力する所に集まるともいわれておりますが、ここ数年地元で目標を定め努力を重ねてきたことが、現在の函館の景況の上昇につながっているといえるのであります。これを青函博を期に、さらに地域の発展に向けて一層の努力を尽くしてまいりたいと存じます。

輝かしい昭和六十三年の年頭にあたり、私の所信の程を申し上げ新年のご挨拶といたします。

年 頭 所 感



日本商工会議所
会 頭 石 川 六 郎

昭和六十三年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。年頭に当たり、日々ご活躍の会員の皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

このたびは、はからずも五島前会頭のあとを受けて、日商会頭に就任いたしました。この新年の始まりが、同時に会頭としての実質的なスタートであると考えますと、その責任の重大さに身のひきしまる思いがいたします。微力ながらも、全国商工会議所の百二十六万会員の皆様と手を携え、商工会議所の使命達成のために職責を全うしたいと存じますので、皆様方の温かいご支援ご協力を心からお願ひ申し上げます。

さて、過ぐる一年を顧みますと、わが国経済は、積極的な財政政策を挺子（てこ）として、ようやく景気後退局面から抜け出し、夏から秋にかけて回復の足どりが確かなものとなってまいりました。しかしながら、その一方で、高騰を続ける円相場に加え、アジアNICsの追い上げなどもあり、依然として輸出産地・構造不況地域を中心に厳しい経済環境にあり、景況の業種・地域間格差は拡大する傾向にあります。また、国際的には、米ソ首脳会談の結果、デタントの進展により世界経済への好影響が期待される一方、いわゆる双子の赤字を抱える米國経済の先行き不透明性が、世界経済の大きな不安定要因となっております。

二十一世紀を目前にして、世界が大きな転換点を迎えている現在、日米欧を中心としてマルチテラテラ的な政策協調が求められており、内外の諸問題に対する竹下新内閣への期待は、極めて大きくなっており、内外の諸問題に対する

世界最大の貿易黒字国・債権国となったわが国は、国際社会への積極的な貢献を果たしていく必要があり、保護主義の広がりを防ぎ、自由貿易体制堅持の先導役とならねばなりません。そのためには、摩擦の原因である貿易不均衡是正に向けて、内需主導型経済構造への変革を強力に推進するとともに、市場アクセスの

改善による輸入拡大、途上国への黒字還流などを着実に推し進めていくことが不可欠であります。

一方、わが国は、海外から「経済大国」「豊かな国」といわれているにもかかわらず、国民の生活実感としては、豊かさの恩恵を十分に受けているとは言えません。国際的にみて割高な食料品、不十分な円高の還元、うさぎ小屋と称せられる住宅の質・量ともの貧困さなどが各方面で指摘されており、社会資本の整備状況も欧米先進国に比べて著しく立ち遅れており、真に豊かな国民生活を実現するため、社会資本の充実を進めうるチャンスは今を期してあります。

こうした国際経済社会との調和、経済発展力の維持、さらに国民生活の質的向上を考える時、産業構造の転換・高度化は、国をあげて乗り越えねばならない重要なハードルであります。その過程では雇用問題、事業の縮小・転換などさまざまな痛みや負担は避けて通ることができない厳しい道であります。これに対しては、内需の持続的な拡大、産業のニューフロンティア開発により対処していくことはもとより、わが商工会議所としても、これを切り開けるために努力をしています。また、企業に対して全力を挙げて支援しなければなりません。

また、今後の高齢化社会の到来、健全な国家財政の確立、活力ある経済社会の構築を展望すると、税制の抜本的見直しは避けて通れません。会議所のメンバーはもとより、国民各界・各層の意見に十分耳を傾け、公平で簡素な、国民の合意を得られるような税制が確立されることを期待するものであります。

一方、最近の首都圏を中心とする異常な地価高騰は、マイホームの夢を奪うのみならず、経済活動の正常な運営を阻害するなど多くの弊害が生じており、一日も早い抜本的な土地対策を必要としております。ただし、地価の形成といえども、基本的には市場原理に委ねるべきであり、土地の需給緩和により解決を図らねばなりません。このため、臨海部再開発、国公有地の有効活用、規制緩和による高度利用等により、土地の供給増加を図る一方で、東京の一極集中を緩和するための分散政策を推進することが必要でありましょう。

国土の均衡ある発展が望まれる今こそ、各地域がそのニーズに基づき、地域自ら参加する創造的な開発を通じて、魅力的な活力ある地域社会を築く好機であると考えます。地域総合経済団体としてのわれわれは、その地域の特性や資源を活用して草の根プロジェクトを企画・実行するため、「一商工会議所一プロジェクト運動」などを進める必要がありましょう。

このように、政治、経済、社会の各面で重要な課題が山積する今、国際性、地域性、公共性という特色を持つ商工会議所としても、その原点に立ち返り、内外の諸問題に積極的に取り組んでいかねばなりません。

今年こそ、商工会議所メンバーはもとより、国民各層の一人ひとりが物質的のみならず、精神的にも豊かで質の高い、いわゆるクオリティ・オブ・ライフの向上を目指す出発（たびだち）の年となることを願ひ、新年のごあいさつといたします。

会 議 所 の 動 き



常議員二人を増員 本所常議員会・臨時総会開催

本所第六回常議員会・第四回臨時議員総会が昨年十二月三日ホテルオークランドで開催されました。

当日は午後三時三十分から常議員会が行なわれ、引き続き四時三十分から臨時議員総会が開かれ、常議員会での議決事項である二件を含め報告事項八件、附議事項三件について審議し、それぞれ原案どおり承認・議決されました。

総会ではまず川田会頭から「最



近に於ける当地域の経済環境は、ここに来て漸く上向き傾向を示しており多くの業種が活況を呈し、観光客の入り込み数は史上最高の三百二十万人が予想されるなど、久方振りに景気が回復してきている。

明年三月には青函トンネルが営業を開始するが、第四次全国総合開発計画の中に青函インターロッキング構想が明確に位置づけられており、函館経済界の果たす役割りには重要なものがある。

長年の不況から脱しつつある今、このエネルギーを明年の青函博につなげ、その後も永続的な経済活性化のために努力を重ねていかねばならない。」とあいさつがあり、そのあと議事に入りました。

議事の概要は次のとおりです。

〔報告事項〕

- 一、議員の異動について（七月以降分）
- 二、北海道新幹線建設促進中央情報よりの報告

- 三、函館・大阪間直行航空路線再開等の陳情よりの報告
- 四、市議会経済常任委員との懇談会よりの報告
- 五、委員会よりの報告
- 六、本所議員旅費規程の一部改正について
- 七、本所事務局及び職員に係わる諸規程の改正について
- 八、月別業務概要報告（七～十月）について、報告があり異議なく承認されました。

〔附議事項〕

- 一、常議員二人補充選任について議員の異動により生じていた常議員二人の補充については審議の結果、次の二人が選任されました。
 - 泉 清治議員（函館空港ビルディング株）
 - 木村勝太郎議員（函館魚市場株）
- 二、本所議員選挙及び選任規約の一部改正について
- 三、本所特別会費規定の一部改正について
- 二、三、については関連事項であり、本所議員選挙にかかる分担金を特別会費として規定化するための一部変更で、いずれも異議なく議決されました。

ポスト青函博へ向け 市経済常任委員会と懇談

青函博後の観光振興を含め青函経済圏の形成についてを協議するため、函館市議会経済常任委員会と本所関係部会・委員会との懇談会が去る十一月十六日、五島軒駅前店において開催されました。

市議会側からは谷口委員長以下八名、本所からは高野副会長、下郡山副会長、白戸商業部会長、安藤工業部会長、西野観光サービス

部会長、豊山農水産副部会長、大越地域開発委員長、倉崎テクノポリス委員長、沼崎高度情報化委員長が出席しました。

懇談会ではまず商工会議所のポスト青函博の取り組みとして昭和六十二年度事業計画の重点項目に「ウォーターフロント再開発の推進」「西部地区の街並保存の推進」とその活用、「広域観光圏の確立」等十二項目を上げていることを説



中国とのパイプをさらに太く 千総領事本所表敬訪問

中華人民共和国駐札幌総領事館の張志民総領事の後任として、この八月着任された千昌奎総領事が去る十一月二十七日、本所を表敬訪問し、川田会長、村瀬副会長と懇談しました。

当日は、千総領事ご夫人と李副領事が同行され、また函館中国経

明、その後フリートリーキング形式による懇談が行なわれました。

出席者からはポスト青函博は大きな関心事であり、今からその対応を講じていくべきで、その方策としては青函トンネルそのものを観光資源として有効利用し、これを他の観光資源と結びつける、函館の地域特性である港湾の機能を高める、青函交流を活発化するなど、さまざまな角度からの意見が出されました。最後に、函館発展のためには行政と経済界が一体となって取組んでいく必要があることが確認され、今後定期的に会合を開いていくことを約束しました。

済促進協会津村会長、日中友好協会函館支部富永支部長も同席されましたが、同総領事は長い間、中国外交部に籍を置き豊富な海外生活から鋭い国際感覚で終始話題を提供され「函館は思ったとおりの素晴らしい街と褒めた後、現在、中国では国民の生活水準を飛躍的



に高めるべく経済開放政策をとっており、特に日本とは積極的な経済交流を望んでいる。私は北海道との促進方についてパイプ役になる」旨の抱負を語り、川田会長は「三年前日商訪中経済使節団に参加し、鄧小平氏等政府要人と懇談したが、貴国の経済政策に取り組む姿勢は理解している。特に本市は古くから中国と交易した歴史の経過もあり、今後の経済交流等に大きな期待を寄せている」旨応え、村瀬副会長からも二度訪中し当市経済界の対応を伝えて、和気あいあいのうち懇談を終えました。

官民挙げて中央陳情 道・新幹線早期実現へ

新幹線は、全国高速交通ネットワークの一環を形成し、国土の有効利用と地域の均衡ある発展に大きな役割を果たしています。

すでに盛岡以南の東北新幹線は開業し、本道と本州を陸続きとする世紀の大事業である青函トンネルも順調に整備が進められ、いよいよ本年三月に開業する運びとな



っております。

このトンネルは、新幹線を通すための規格でつくられており、これを積極的に活用する意味から東北新幹線が青森まで延長されたときには、同時に函館まで乗り入れられることが望ましく、これらに対する道民のコンセンサスもできています。

このような情勢の中、国においては、全国の整備五新幹線の着工の順位を本年度中に決める意向といわれ、また、新内閣の発足により関係大臣等の異動もあったので、北海道新幹線の早期実現にかける地元の熱意を示そうと、道南の地方自治体と経済界で構成している北海道新幹線建設促進道南地方期成会では川田会長（本所会頭）以下構成員の道南の町村長を始め本所村瀬・加藤両副会頭及び本所関係者を併せた一行五十人による陳情団を編成し、十一月二十四日に

大挙上京の上、中央陳情を行ないました。

陳情先は、自民党道代議士会をはじめに、自民党三役（総務会長 伊藤正義氏、幹事長 安部晋太郎氏、政務調査会長 渡辺美智雄氏）、石原運輸・宮下大蔵両大臣並びに関係省庁と多岐にわたりました。自民党三役、両大臣はともに財源確保の厳しさを指摘しながらも、盛岡―青森間は東北新幹線の残工事であることと、国費七千億円を投じた青函トンネルを有効に活用する意味から北海道新幹線の内、とりあえず、青森―函館までの建設については前向きのご理解を示して頂き、実りの多い陳情となりました。

当日は青森市側からも陳情に参加し、東北新幹線盛岡以北の早期着工も同時陳情し青函地域挙げての盛り上がりを見せました。

北海道新幹線の青森―函館間建設の早期実現を図るためには、こうした熱意のこもった陳情活動をねばり強く続けて行くことが最も効果があることから、今後とも官民挙げての陳情活動を展開することになりました。

●炭火●炉ばた焼

新鮮な海の幸を中心に豊富なメニュー。
食べて飲んでしかも安く心と心の
通いあえる店!!



*本店/函館市松風町4-8 PM4時~12時迄
TEL 26-2555 年中無休



「二十一世紀のまちづくりをめざして！」
 第二回地域振興フォーラム開催

「南北海道二十一世紀のまちづくりをめざして」と題して第二回地域振興フォーラムが十一月二十日国際ホテルで開催されました。これは函館市と渡島・松山両支庁管内町村会の共催で開かれたもので、各地の政財界、住民約三百人が熱心な討論に耳を傾けていました。

道開発庁の大申国弘計画監理官の基調講演では、この夏閣議決定した第四次全国総合開発計画（四全総）の中で、本道の役割りは、①北方圏諸国との国際化拠点②食糧・素材供給基地③先駆的産業の立地場所④リゾート開発による国民生活の向上に資する場所の四点である。この四全総での道南の位置づけとしては、青函トンネル開業をにらんでの「青函インターブロック構想」があるが、私見としては、函館まで新幹線がくることが重要で、札幌方面にはリニア・モーターカーで結ぶことにより函館は交通の結節点となる。高速自動車道路の整備は本州に比べて立遅れが目立つ、函館―長万部の道路は、道路公団方式では、いつ完成するか不明であり公共事業として進める方が早期に完成するとし、また高規格道路も地元負担が必要である。

大規模リゾートでも大沼が候補の一つだが、開発のためには国定公園の規制の緩和も必要で住民の理解が求められる。国は地域活性化のお手伝いをする用意があり、地域の知恵を結集したプロジェクトを早急に作成することを希望すると結びました。

基調講演をうけて、パネルディスカッションでは種々論議が展開され、その中で本所川田会頭は「昭和六年頃、道内の高額納税者番付で上位に函館経済人八名が占めていた」など過去の経済界の状況を説明した後、「青函圏域は、アメリカ及びヨーロッパのテクノパークと同緯度でハイテクノロジーには好位置にあり、函館の海洋開発を中心にしたマリノテクノポリスと青森の農産物を中心にしたアグリテクノポリスの技術交流、さらには道南の大沼と青森の八甲田、十和田など観光資源を十分活用しての広域観光圏の確立は、今後大いに期待される」と、意見を述べられました。各参加者はパネラーの意見を終始熱心に聴講し、盛會裡のうちに終了しました。

社会福祉法人会計・学校法人会計・公益法人会計・市町村会計
 一般企業会計のOA・事務改善・財務指導をトータルリングする

ミロク・OA・帳票システム函館地区代理店

株式会社 **システム** 経 理

代表取締役 矢野 賀士

〒040 函館市新川町9番12号 電話 23-4863番



事務局日誌

11 月

- * 委 員 会
 - 18(水) 総務委員会正副委員長会議並びに同委員会
- * 正副会頭会議
 - 2(月) 第43回正副会頭会議
- * 会 議 (日商)
 - 19(水) 第357回常議員会
 - 20(金)・21(土) 北海道ブロック中小企業相談所長会議
- * 会 議 (道商連)
 - 5(水)・6(金) 全道商工会議所調査企画担当者会議
 - 12(水)・13(金) 全道商工会議所補助員・記帳専任職員・記帳指導職員研修会
 - 26(水) 正副会頭会議
 - 〃 第96回常議員会
 - 〃 第104回臨時会員総会
- * 審 査 会
 - 10(火) 小企業等経営改善資金の審査会
 - 26(水) 〃 〃
- * 諸 会 議
 - 2(月) 市長・両助役との懇談会
 - 4(水) 函館港利用促進協議会幹事会
 - 〃 函館地区税務指導協議会
 - 5(木) 昭和62年度全道モデル貸金調査等担当者会議
 - 〃 函館市議会議務局との打合せ
 - 6(金) 青函トンネル資材協力会役員会
 - 9(月) 指導員連絡協議会
 - 10(火) 地域振興政策懇談会
 - 〃 はこだて冬のイベント実行委員会
 - 11(水) 渡島支庁管内市町村長と商工会長会議
 - 12(木) テクノポリス函館企業立地説明会
 - 16(月) 議員会役員会
 - 〃 函館市議会経済常任委員との懇談会
 - 17(火) 日本社会党道本部第5回地域道政懇話会
 - 〃 箱館奉行所復元促進期成会常任幹事会
 - 19(木) はこだて冬のイベント実行委員会総務部会
 - 20(金) 昭和63年初売り日に係る五者会議
 - 〃 第2回地域振興フォーラム
 - 24(火) 成功させよう青函博の会正副会長・常任幹事合同会議
 - 〃 市民生協木広西店(仮称)新設に関する協議会
 - 25(水) 青函博第1回出展者会議
 - 〃 世界・食の祭典委員会理事会
 - 26(木) 函館繊維商組合役員会
 - 27(金) 昭和62年度第4回小規模企業振興委員連絡会議
 - 30(月) 自由民主党北海道支部連合会移動政調会及び地域政策シンポジウム
- * 陳 情 ・ 要 望
 - 24(火) 北海道新幹線建設促進に関する陳情
 - 〃 函館・大阪間直行航空路線再開に関する陳情
 - 25(水) 〃 〃

- 25(水) 函館空港の函館・東京線へのダブルトラッキングの導入に関する陳情
 - 〃 函館空港の国際化に関する陳情
 - 〃 函館・仙台便通年運転に関する要望

- * 講 習 ・ 催 物
 - 5(水) 記帳講習会
 - 6(金) 観光従事者セミナー「サービスに心を込めたおもてなし」
 - 〃 北東公庫移動相談室
 - 6(金)~11(水) 昭和62年度第50回記念函館菊花会展覧会
 - 7(土) 函館大学経営研究所公開経営セミナー
 - 10(火)~12(月)13(日) 北の円空・木喰展
 - 11(水) 経営相談
 - 12(木) 記帳講習会
 - 13(金) 金融説明会
 - 〃 「税を知る週間」財政講演会
 - 18(水) 発明相談
 - 19(木) 記帳講習会
 - 24(火) 美容業セミナー「新時代に向けての美容店経営と今求められるサービス戦略」
 - 25(水) 公害健康被害補償法の改正に伴う同制度説明会
 - 26(木) 記帳講習会
 - 〃 年末調整説明会(法人)
 - 26(木)~12月1(火) 第2回「大青森まつり」
 - 27(金) 地域情報化セミナー
 - 〃 法律相談

- * 検 定 試 験
 - 15(日) 第67回簿記検定試験

- * 刊 行 物
 - 20(金) 所報「ともえ」No.81(11月号)発行

- * 相 談 ・ 診 断

金融	179	税務	46	経 理	35	経 営	264
労働	13	取引	0	その他	3	計	540

- * 貸 室

本 館	30	別 館	29
-----	----	-----	----

- * 文 書

受 信	190	発 信	12
-----	-----	-----	----

- * 慶 弔 ・ そ の 他
 - 3(火) 函館市文化賞贈呈式
 - 〃 函館機械金属造船工業協同組合 永年勤続優良従業員表彰式
 - 4(水) 北海道菓子卸商業組合永年勤続優良従業員表彰式
 - 〃 青函博ワールド・パザール館運営に係る先進地視察
 - 5(木) 函館地域加速の技術開発支援事業推進委員会 海中TVカメラ実験現場視察
 - 6(金) 函館家具工業協同組合永年勤続優良従業員表彰式
 - 9(月) 函館市民憲章制定10周年記念式
 - 11(水) 昭和62年度納税表彰式
 - 〃 北海道信用保証協会函館支所と本所指導員との研修会
 - 12(木) 第29回優良商工従業員表彰式
 - 17(火) 第2回郷土料理まつり
 - 〃 税の書道展表彰式
 - 18(水) 国民金融公庫と本所指導員との研修会
 - 20(金) 西原北海道開発事務次官を囲む夕食懇談会
 - 26(木) 中日友好協会孫平化会長親睦夕食会
 - 27(金) 在札幌中華人民共和国総領事千昌奎夫妻親迎昼食会
 - 〃 函館市経済交流促進代表団中国視察報告会
 - 〃 函館税関115周年記念式典並びに祝賀会
 - 〃 昭和62年度函館市技能功労者、中小企業永年勤続者表彰式
 - 28(土) 函館インフォメーション・ネットワーク サービス開始記念祝賀会
 - 30(月)~12月4(金) 経営指導員研修

65年の伝統と信用を誇る

早 川 特 許 事 務 所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所 長 弁 理 士 早 川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 2月17日 水曜日午後1時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課 (23-1181・内線63番) にお申し込み下さい。



事務局日誌

12月

***常議員会**

3(木) 第6回常議員会

***総会**

3(木) 第4回臨時議員総会

***部会**

8(火) 観光サービス部会

***正副会頭会議**

3(木) 第44回正副会頭会議

26(土) 第45回正副会頭会議

***会議(日商)**

17(木) 第358回常議員会

〃 臨時会員総会

〃 第103回議員会総会

***^(監)審査会**

14(月) 小企業等経営改善資金の審査会

***諸会議**

2(木) 第12回青函圏経済文化振興協議会

〃 (財)テクノポリス函館技術振興協会技術審査委員会

3(木) 議員会定時総会

3(木)・4(金) 湯の川温泉街診断第1回検討会

8(火) 函館市歴史的景観条例検討委員会

〃 北海道旅客鉄道(株)函館支店長との懇談会

9(木)・10(木) 昭和62年度大規模小売店舗法に関する研修会

10(木) 成功させよう青函博の会宿泊部会

11(金) 所報「ともえ」No.82(新年号)新春座談会

14(月) 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会幹事会

15(火) 「世界・食の祭典1988」函館エリアの展開に関する説明会

16(木) '87渡島地域ニューフロンティア・フェスティバル
第3回実行委員会

19(土) 青函連絡船の存続を推進する協議会

22(火) 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会幹事会

23(水) ワールド・バザール館推進関係者会議

〃 成功させよう青函博の会ホスピタリティ運動部会

***陳情・要望**

23(水) 北海道新幹線建設促進に関する陳情

***講習・催物**

2(木) 個人事業主のための税務セミナー
「税制改革のポイント」

8(火) 青色申告者年末調整決算説明会

9(火) 日経産業セミナー

10(木) 青色申告者年末調整決算説明会

〃 経営相談

〃 法律相談

11(金) 箱館奉行所復元促進期成会講演会

〃 青色申告者年末調整決算説明会

14(月) 青色申告者年末調整決算説明会

〃 法律相談

15(火) 青色申告者年末調整決算説明会

16(水) 発明相談

17(木) みなし法人制度改正説明会

23(木) 経営相談

25(金) 法律相談

***検定試験**

6(日) ワープロ検定試験(3級)

***相談・診断**

金融 149 税務 131 経理 61 経営 274
労働 16 取引 0 その他 1 計 632

***貸室**

本館 15 別館 5

***文書**

受信 172 発信 13

***慶弔・その他**

1(火) 北海道瓦斯(株)函館支社新社屋落成式

3(木) 議員会忘年会

4(金) 函館デザイン協会創立40周年記念祝賀会

5(土) 函館青年会議所会員大会

6(日) 函館脳神経外科病院建物披露並びに開院披露祝賀会

8(火) 陸上自衛隊第11師団小田原師団長を囲む懇親会

9(水) 日経産業セミナー講師を囲む昼食会

10(木) 日本団体生命(株)函館支社起工式

〃 ワールド・インポートフェアの視察

13(日) 青函トンネル、函館-青森間訓練列車試乗会

15(火) 函館東ロータリークラブゲストスピーチ

16(水) 函館木工品製作販売(株)新社屋落成式並びに祝賀会

17(木) 日商新会頭披露パーティー

18(金) 中内ダイエー社長表敬訪問

21(月) 四倉太郎氏昭和62年度函館市文化賞受賞祝賀会

〃 「JR、PRO・SHOP」オープンセレモニー

23(木) 三道県新幹線建設促進緊急決起大会

〃 全国5整備新幹線着工促進総決起大会

〃 函館警察官友の会歳末警戒職員慰問

25(金) 道々五稜郭公園線シンボルロード整備事業コミュニティ・
マート構想第一期(北街区)街路整備事業完成式

26(土) 同完成祝賀会

27(日) 湯の川プリンスホテル増築落成披露

ふそう大型トラック
ザ・グレート

小・回・り・の・あ・い
街の1.5トン

ふそう中型トラック
ファイター

センターガッツ

函館三菱ふそう自動車販売株式会社

■本社 / 函館市昭和3丁目32番26号 ☎0138-42-1122(代)



函館商工信用組合
理事長

荒井孝一

千歳町九一六

北海道ガス(株)函館支社
専務取締役函館支社長

安藤勝見

万代町八一

函館米穀(株)
代表取締役

石上伊佐男

万代町二〇一八

ペンケイ綿(株)
代表取締役

飯田貢一

昭和四一四一七

函館空港ビルディング(株)
代表取締役専務

泉清治

高松町五一(函館空港内)

(株)近藤商会
取締役社長

池見厚一

西桔梗町五八九

キングハイヤー(株)
代表取締役社長

今川重男

美原二一七一

(株)北海道拓殖銀行函館支店
支店長

石井正之

若松町一五七一一

住友生命保険相互会社函館支社
支社長

伊与部武

本町七一八

千代田生命保険相互会社函館支社
支社長

岩根賢周

大手町二一七

参議院議員

岩本政光

札幌市中央区北四条西二丁目
(石垣ビル)

中小企業金融公庫函館出張所
所長

植田満哉

松風町二一一二三

丸卓不動産(有)
代表取締役

遠藤烈子

宝来町二一五



(株)テオースイミングスクール
代表取締役社長

小笠原 孝

本通三一一一一

北海興業(株)
代表取締役社長

加藤 隆三

中島町一四一六

第一生命保険相互会社函館支社
支社長

川崎 順平

本町六一七

小熊水産倉庫(株)
代表取締役社長

小熊 勝夫

大町二二四

三井生命保険相互会社函館支社
支社長

金谷 守

梁川町五十八

日本化学飼料(株)
代表取締役社長

川田 寛

浅野町三二六

(株)陶陶亭
代表取締役社長

加地 彦太郎

若松町一八一二〇

日本通運(株)函館支店
支店長

鎌田 徹

若松町一三一

(株)湯の川プリンスホテル
代表取締役社長

河内 孝夫

湯川町一〇二二五

(株)テオー小笠原
代表取締役社長

小笠原 金悦

松川町四五一六

加藤組土建(株)
取締役社長

加藤 憲

千歳町三一二

日本電信電話(株)函館支社
支社長

川内 康久

日乃出町二九一二

函館トヨペット(株)
代表取締役

河村 澤治

美原二二一四一